

*** 令和元年度 たかだ竹あかり写真コンテスト 結果 ***

1位 「灯に導かれ」 小川 卓（長岡市） 得票数 64/189

～よかったところ～

- ・ 竹あかりに行った気分になりました
- ・ 飯塚邸の庭園がいかされていてとても美しいです
- ・ 背景の樹木のライトアップと竹あかりの光が素敵です

2位 「たかだ竹あかりに遊ぶ」 植木 元（半田） 得票数 19/189

～よかったところ～

- ・ 子どもの楽しさと竹あかりの美しさが良く感じました
- ・ 女の子の表情がよい(タイミング、シャッターチャンスがうまい)
- ・ 子どもたちが楽しそう！

3位 「たかだ竹あかり[I]」 倉部 光行（原町） 得票数 13/189

～よかったところ～

- ・ むらさきにも白にも見える竹から差し込んだ光が雪に見えてキレイでした
- ・ 幻想的で素敵でした
- ・ 青の色 斬新的

審査：コミセン祭り(作品展)来場者による投票

【応募作品数：25点】

*** 令和元年度 たかだ竹あかり俳句コンテスト 結果 ***

優秀賞 「いいねっか 令和宵闇 竹あかり」 植木 元 (半 田)

竹あかり賞 「百万遍の 声止まぬ夜の 竹あかり」 横田 一未 (下 方)

特別賞 「母子ども 大数珠回し 竹あかり」 植木 元 (半 田)

特別賞 「甲高き コオロギの音と 竹あかり」 細山 栄一 (与 三)

俳句講評

今年も秀句が多く、甲乙つけがたく選考に苦労しました。

優秀賞の作品「いいねっか 令和宵闇 竹あかり」は、初句「いいねっか」がいいです。まさに「いいねっか」です。わずか3句17文字の短い中に「いい」とか「悪い」とかの感想を入れるのは一般的によくないことですが、句頭にいきなり「いいねっか」と方言を持ってきて、度胆を抜かすところが秀逸です。「令和」が入ったのもよかったと思います。「令和の宵闇」と「の」を入れると、字余りになりますが、もっと落ち着くかもしれません。

竹あかり賞の作品「百万遍の 声止まぬ夜の 竹あかり」は「声止まぬ」という聴覚と「竹あかり」という視覚の広がりがあり、さらに「百万遍」という歴史的広がりもあって、内容の豊かさに感心しました。

この句も「百万遍の声止まぬ夜の」が「竹あかり」の説明(連帯修飾語)になっていて「竹あかり」だけに焦点が当てられていますので、「夜の」の「の」を切れ字の「や」に替えて、「百万遍の 声止まぬ夜や 竹あかり」にすると、もっと広がりが出てきていい句になるように思います。

「母子ども 大数珠回し 竹あかり」
「甲高き コオロギの音と 竹あかり」
も秀句だと思いました。

審査：元新潟産業大学 学長 北原保雄氏
【応募作品数：23点】